

■会議録

会 議	令和3年度 第3回 社会教育委員会議
開催日時	令和4年2月17日(木)午前9時30分から午前11時32分まで
開催場所	市役所第2別館 第2会議室
出席者	<p>山陽小野田市社会教育委員11名            城戸邦之委員、矢野憲文委員、香川真澄委員、河崎知治委員、榎崎八由美委員、            富永恵美子委員、長谷川義明委員、大本章男委員、能勢俊勝委員、平中政明委員、            吉本光良委員</p> <p>事務局7名            岡原教育部長、舩林社会教育課長、池田課長補佐            安藤係長、柿並係長、來嶋係長、縄田主事</p>
会議次第 及び結果	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 報告 『公民館の地域交流センター化について』            ○公民館の地域交流センター化について以下のとおり経過を報告した            ・令和3年9月16日第1回総合教育会議において、第2回社会教育委員会議で作成された提言を基に教育委員会から市長部局への意見を提出した。            ・令和3年10月14日第3回総合教育会議にて市長部局から回答があり、センター化についての共通理解を得た。            ・12月市議会定例会において、センター化条例や公民館廃止条例などの関連議案が賛成多数で可決された。            ・2月下旬から3月にかけて、各地域の公民館運営協議会において説明を行う。</p> <p>以下、委員からの主な質問及び回答</p> <p>・各地区の公民館運営協議会での説明は誰がするのか。            (事務局) 市民活動推進課と社会教育課が説明を行う。</p> <p>・市民に対しての説明はどのように行っていくのか。            (社会教育課) 公民館のセンター化についての説明を記載したチラシを市民活動推進課と社会教育課で作成し、公民館利用者に配布する予定である。</p> <p>3 協議 『社会教育推進の指針について』            ○令和4年度社会教育推進の指針(案)について協議した。            ・指針の内容及び表現等についての意見があった。事務局で修正を行い、来年度の第1回社会教育委員会議で提示することに決定した。</p> <p>以下、主な質問及び回答</p> <p>・社会教育主事(社会教育士)と書いているが、違うものであるなので表現の工夫を。            (社会教育課) そのように修正する。</p> <p>・指針の大きなキーワードとして「ひとづくり」「地域づくり」があり括弧でくくってあるが、「きっかけづくり」「つながりづくり」も括弧でくくってある。その意味はなにか。            (社会教育課) 様々な地域団体等がつながることで持続可能な社会が構築されることや、利用者の固定化を防ぎ新たな利用者を招くきっかけを作っていきたいとの思いから、「きっかけづくり」「つながりづくり」が重要と認識している。</p>

・第1コーディネーター、第2コーディネーターなど様々な役割の名称が指針の中に出てくるが、分かりづらく整理されていないと感じる。

(社会教育課) 時間をかけて整理していきたい。

・文化財の保存について、青年の家2階に保存してある文化財は今後どうするのか。また、古式行事の道具の保存はどうするのか。

(社会教育課) 移動先はまだ決まっていないが、重要事項と捉え検討していく。古式行事保存会の道具は当面加藤公会堂の倉庫で保存していただきたいが、市としても支援していきたい。

#### 4 その他

・青年の家ときらら交流館の今後の方向性について報告。青年の家の天文館については来年度一般投映会を行い、4年度末で事業を終了する。その後、糸根公園として一体的に整備する方針である。きらら交流館についてはリニューアル計画を図っているところであり、令和5年2月末で営業を一旦休止する。

#### 5 社会教育課長あいさつ